

第14回千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議 専門部会 概要

1 日時 令和2年12月15日（火）18:00～20:05

2 場所 千葉県庁本庁舎5階 特別会議室

3 委員（敬称略・外部委員につき五十音順）

猪狩 英俊	千葉大学医学部附属病院 感染制御部長
亀田 信介	一般社団法人日本病院会千葉県支部 支部長
神山 潤	東京ベイ・浦安市川医療センター 管理者
小森 功夫	松戸市立総合医療センター 副院長
眞田 範行	千葉県弁護士会 会長
角南 勝介	成田赤十字病院 病院長
寺口 恵子	公益社団法人千葉県看護協会 会長
中村 朗	総合病院国保旭中央病院 院長補佐
西牟田 敏之	公益社団法人千葉県医師会 公衆衛生担当理事
馳 亮太	成田赤十字病院 感染症科部長
宮崎 勝	国際医療福祉大学成田病院 病院長
山本 修一	千葉大学 副学長
石川 秀一郎	千葉県衛生研究所 所長
杉戸 一寿	千葉県保健所長会 会長
山崎 晋一郎	千葉県病院局長

4 関係機関等

山口 淳一	千葉市保健福祉局 次長
柿崎 恵司	千葉市保健福祉局 医療政策課 参事
小出 正明	船橋市保健所 理事
戸来 小太郎	柏市保健所 保健予防課 課長
広木 修一	柏市保健所 保健予防課 専門監

松本 尚	千葉県災害医療コーディネーター
吉村 健佑	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター センター長

5 県側出席者

加瀬 博夫	健康福祉部長
渡辺 真俊	保健医療担当部長
中村 勝浩	健康福祉部 次長
石出 広	健康福祉部 次長
内田 信	健康福祉部 参事
久保 秀一	健康危機対策監
井上 容子	健康福祉政策課長
横田 裕之	健康福祉政策課 副参事
大野 義弘	健康づくり支援課長
舘岡 聰	疾病対策課長
田村 圭	医療整備課長
菅沼 秀樹	医療整備課 副参事
菅沢 淳一	衛生指導課長

6 議題に係る主な意見等

○ 重症者への対応、フェーズ4への移行について

- ・ 現在の感染状況を踏まえ、各医療機関に求める病床確保のフェーズを現在のフェーズ3からフェーズ4へ移行するにあたり、千葉県では他県と比べ、現在、重症者数が少ないことから、重症患者用のベッドはフェーズ3のままの60床とする運用について意見を聴取した。
- ・ 出席者からは、賛同が示された。

○ 宿泊療養・自宅療養について

- ・ 感染拡大による病床のひっ迫を軽減するため、ホテル療養と自宅療養を行う患者の基準について整理することについて意見を聴取した。
- ・ 出席者からは、自宅療養をする基準には、昨今の家庭内感染の増加を踏まえ、「家庭内感染の恐れが無い者」を入れてはどうか、という意見や、地域の医療資源に余裕がある場合は自宅療養をさせないという基準としてはどうか、という意見があった。

○ 入院適応について

- ・ 入院の判断にあたり、神奈川県で採用している「入院優先度判断スコア」を千葉県でも取り入れることについて意見を聴取した。
- ・ 出席者からは、
 - 保健所で判断する場合や、不慣れな医師等が診察する場合の目安として、こうした基準があった方がよい
 - 事故等があった場合に、判断した医師の正当性を裏付けるものになるなどの意見があった一方、千葉県のように入院を保健所ごとに、地域特性を踏まえて行っている場合、必ずしもなじまないとの意見もあった。
- ・ これらを踏まえ、当該スコアについては、入院適応を決める際の目安として、医療機関と保健所で情報共有することがよいのではないかと、との意見の一致があった。